

ロータリー情報

—— 新会員賦与資料 ——



国際ロータリー2640地区 堺フェニックスロータリークラブの紹介

- 名称 堺フェニックスロータリークラブ
- 創立 1997年（平成9年）3月27日
- R I加盟認証 1997年（平成9年）4月2日
- 認証状伝達式 1997年（平成9年）5月29日
- スポンサークラブ 堺ロータリークラブ
- 例会場 サンスクエア堺（堺市堺区田出井町2-1）
- 例会日時 第1週土曜日 18:30～19:30
第3週土曜日 18:30～19:30（クラブ研修会）
- 事務所 〒590-0021 堺市堺区北三国ヶ丘町1-1-16 C-17
TEL (072)227-4990 / FAX (072)227-4991
Mail : sakai.phoenix.1997@gmail.com

◆ ロータリーとは

- (1) ロータリーの誕生
- (2) ロータリーの目的
- (3) 日本のロータリー
- (4) ロータリーの綱領
- (5) 会員の特典と守るべき事柄
- (6) ロータリーの10徳
- (7) 例会の意義
- (8) 例会プログラム

(1) ロータリーの誕生

1896年、ポール・P・ハリスは、自分の生涯をかける仕事は、弁護士である事を決意して、シカゴで開業した。当時のシカゴは、ゴールドラッシュの影響を受けて、荒廃の極にあり、殊に人間関係は極度に乱れ、彼をたまたま「寂しがり屋」に追い込んだ。彼は、友人が商家の人々と楽しそうに語り合う情景をまのあたりに見せられ羨望と共に一つの考えが浮んだ。即ち、「多くの異なった職業からたった一つだけを選んで一つの組織を作り、政治や宗教に制限されることなく、お互いに寛容の精神をもって、親睦を図ることは、不可能ではない」という理想が生まれ、それを胸に秘めて5年間も考えつづけた。

1905年2月23日、ポール・ハリスは、5年間考え続けて来た一業一人制の集りを作って、お互いの事業の発展と親睦を計ることを、下記の集った三人に述べ、色々と話し合った結果、全員の賛同を得て、2月23日、第1回の会合を開いたのが、ロータリークラブの誕生であります。ロータリーとは、会員が持ち回りで順番に、集会を各自の事務所で開いたことから名付けられました。

- ・ポール・ハリス 弁護士
- ・ジルベスターシール 石炭商
- ・ハイラム・ショーレ 洋反物商
- ・カスターブ・ローア 鉱山技師

このクラブは着実に成長し、現在161の国家に広められ、クラブ数29,728、会員総数は1,193,461人(1999年6月30日国際ロータリー公式発表)に達しています。これらクラブをメンバーとして国際ロータリーが構成されています。

(2) ロータリーの目的

ロータリーは人道的奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的基準を守ることを奨励し、且つ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した、実業人および専門職業人の世界的に結び合った団体である。

- 1) 広く知己を求めて、奉仕の機会を多く持つ。
- 2) 各自の職業に誇りを持って、その道徳的基準を高める。
- 3) 公私の別なく奉仕の理想を実行する。
- 4) 国際的にも理解と友情を広めかつ深める。

そして四つのテストに照らして各自の言行(四つの反省)

- 1) 真実か どうか 誤り偽りはないか。
- 2) みんなに公平か 誰にも恥じることはないか。
- 3) 好意と友情を深めるか。 善意と友情を傷つけないか。
- 4) みんなのためになるか どうか。 人の為になるか。

と反省に務めることにしている。

(3) 日本のロータリー

我が国のロータリークラブは1920年(大正9年)10月20日当時、三井銀行の重役であった米山梅吉氏が、初めて東京にこれを創立し翌21年4月1日、世界で855番目のクラブとして加盟承認されました。その後第2次世界大戦の結果、一時国際ロータリーから脱退するのやむなきに至ったこともありますが、その間もよくロータリーの精神を堅持して会合に務め、その神髄と組織を維持し、戦後国際ロータリーに復帰するや、ますます発展、現在では、北は北海道、南は沖縄まで、クラブ数2,278、会員数123,607人(1999年6月末)に達し、なおすべての都市、すべての町にその理想の翼を広げる努力を続けております。会員は地域内の理想に燃える堅実な実業家、専門職業人がクラブ例会等の出席によって、各種職域人の交友を通じて地域社会へのより多くの奉仕の機会を得ようとはかっております。

(4) ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること；

(5) 会員の特典と守るべき事柄

(A) 会員の特典

- ① 入会を許可されたことは、「地域的に職業上定評があり、人格適正、善良な管理職にある者」と人数から認証されたことを意味します。
- ② 入会の時点で、世界のロータリークラブ(RI)の会員(ロータリアン)と仲間(フェロー)になった事を意味し、一国一城の主が心の友となって相談相手になったことであります。ロータリアンは 孤独ではありません。
- ③ 世界中のあらゆるRCの例会に、予告なしに出席しても無礼ではありません。むしろ大歓迎を受け友愛を深めることができます。
- ④ ロータリーのエンブレム(記章)を付け地域的な職業的代表者と目され、世人の尊敬を受けることができます
- ⑤ 奉仕の喜びを知り、自己を修養することができます。

(B) 守るべき事柄

- ① 入会金、年会費の納入。
- ② RIの諸原則に従い、クラブ定款細則を遵守しなければなりません。
- ③ 例会出席。
- ④ ロータリーの出版物の購読。(ロータリーの友の購読)
- ⑤ 常にロータリー活動の時にはロータリーバッジ装着する。
- ⑥ クラブの奉仕活動には仕事や健康上の理由がある場合以外は、積極的に参加する。
会員として人間的向上の為です。(入りて学び、出でて奉仕せよ)

(6) ロータリー10徳

ロータリーに入会すると色々な徳や得がありますが、その内の主なものを拾ってみますと、次の10になります。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1、視野が広がる。 | 6、社交的になる。 |
| 2、行儀がよくなる。 | 7、話題が豊富になる。 |
| 3、腰が低くなる。 | 8、話術が上手になる。 |
| 4、顔が朗らかになる。 | 9、童心にかえる。 |
| 5、几帳面になる。 | 10、時間を守る。 |

(7) 例会の意義

- 1) ロータリーは、例会を始め、各種の会合によって会員の親睦を厚くして、その親睦によって育まれる温かい友情の交歓の中で人生について語り、社会について、世界について語り合う。特に自分の職業の経験や、自分の仕事の工夫、時には職業上の悩み等他のロータリアンと語り合っている間に、奉仕の精神が湧き出てくるもので、ここに例会の意義があるのです
- 2) クラブの例会は、ロータリアンの親和のグラウンドでもあるが、それ以上に厳しい練成の道場でありロータ

リー至上の最も重要な会合でもあるのです。又、例会は、ロータリーの原動力をなすものであり、会員が切磋琢磨し合い、併せて、友情の絆を深めつつ、事業を語り、人生を論じロータリーを究める修業の場であることを確認せねばならないのです。

(8) 基本的な例会プログラム

- 1) 開 会 点 鐘
- 2) ロータリーソング
- 3) お客様紹介
- 4) 出席報告
- 5) 各種お祝い(会員誕生 ご家族誕生 結婚記念 創業記念 等)
- 6) 会長の時間
- 7) 委員会報告
- 8) 幹事報告
- 9) 卓 話
例会後半の 30 分間に行われる有意義な講話のこと。会員、又は外部からお客様を招き政治、経済、文化などの有益な話を聞く。
- 10) S. A. A. 報告 (ニコニコ報告)
ニコニコボックス (スマイルボックス)
例会場で会員が自由意志で善意の寄付金を入れる箱。会員、家族、事業場等の慶びごとをユーモアたっぷりに披露し親睦を増進して集まったお金は奉仕活動資金に使われる。
- 11) 閉 会 点 鐘

Rotary

